

地域住民との連携による農空間保全

むつお

六尾農空間維持保全ふれあい促進会議（泉南市）

- 六尾地区は、H20年度には場整備事業が完了し、地元農家を中心に、農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- H28年度に六尾農空間維持保全ふれあい促進会議が設立され、地域住民と連携した地域資源の保全管理が図られている。

【地区概要】

取組面積	10.81ha [田9.63ha 畑1.18ha]
農業用施設	開水路2.8km パイプライン0km 農道 1.2km ため池 7箇所
主な構成員	六尾区（区長等）
交付金	312千円

活動開始前の状況や課題

- H20年度には場整備が完了し、地元農家による営農が行われていたが、一部で遊休農地が発生したり、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の維持管理が課題である。
- ほ場整備の完了から10年以上が経過し、一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題である。



取組内容

- 草刈りや水路の泥上げに加え、農道舗装の補修や水路附帯施設の補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- 府・市と連携した水田貯留対策のモデル地区として、大雨時の下流への浸水被害軽減や農地の保全のため、地区内の水田で水田貯留の実証実験に取り組んでいる。



取組の効果

- 地元農家が中心となって、きめ細やかな施設の軽微な補修に取り込むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。
- 交付金の共同活動の強化や水田貯留等の取り組みを通じ、地域ぐるみでの農空間保全の機運が高まっている。また、本地区における水田貯留の実証実験により、大雨時の浸水被害の軽減効果を示すことができれば、府下の他地区での取り組みにも繋がることも期待できる。

